

	現	先	電
廿三日	一三七、五〇 <small>志片</small>	一三四、五〇 <small>志片</small>	一五八、〇〇 <small>志片</small>
廿七日	一二一、五〇	一二〇、五〇	一四八、〇〇
一日	一二二、五〇	一一九、五〇	一四二、〇〇
三日	一二一、五〇	一一八、〇〇	一四〇、〇〇
六日	一二三、一五〇	一一九、一〇〇	一四〇、〇〇
二十日	一〇九、〇〇	一〇七、〇〇	一三九、〇〇

これか原因を推すべきものに二説あり、一は英佛露の諸國か、已に米國銅の大買収を終はりて一段落を告げ、當分買入れのことなきを以て、米國の二三大生産家が頓かに態度を變して安價を發表せるか爲であるといひ、他は平和見越及び米國の生産過剰を基とし且曩日暴騰の反動として下向きとなりたるより、買方連か恐慌を起せる結果、此暴落を來たしたものと云ふ之を要する是等の諸原因の相交錯せる結果と曩日の暴騰は需要供給に關係なき變動であつたか爲てはあるまいかと考へられる、内地相場も此暴落に連れ、一二圓の下落を來たしたか、商況は支那政府の五千噸、露國政府の三千噸大注文ありしやにて、割合に好況なり。

鉛 は引續き不味にて茲又復百斤に付き各一圓宛低落したり。

亜鉛 は前回各三圓内外の下押ありたる爲め此所持合の姿なり。

アンチモニー は上海に於ける支那商人の二萬噸てふ大量の投出しありたる爲め市價奔落し前回已に硫化アンチモニー百斤に付き三圓方下落し其他各品を通して五六圓方の

急落を演したるに尙又復四五圓内外の奔落を見するに至れり而して前途尙混沌なり。

錫 は昨今小口なから商談あり爲めに他品の奔落的歩調を辿り居るにも拘はらず比較的手堅き商情を呈し居たるか茲印度地方に於ける商況活氣を呈し來りたる爲め内地市況も之に促され稍活氣付き相場百斤に付き二三圓方の上進を見るに至れり。

金物沈靜原因 世界の金物相場は先月中旬の暴騰を最後として爾來漸次沈靜に傾きたり、而して金物相場の近來斯の如く軟弱に轉せるは一般に平和の近づきたるを豫期するに依るものゝ如く、殊に米國にては一時歐洲交戰國の軍需品注文旺盛なりしも何故か近來漸く減少の傾きありて爲に米國と歐洲間の船腹に餘裕を生したる程なれば同國內に於ける平和熱は意外に熾にして、隨つて同國內に於ける金物思惑冷却し其他の諸國に於ても略同様の現況なれば、實際の需給狀況は兎も角此平和見越の爲めに思惑取引沈靜に歸したるは金物相場を漸落する主なる原因と見るへし、而して内地市場は倫敦相場に比し比較的強硬を保ち居れるかハ對露輸出先物商談相當に出來し居れると露國註文の再來を期待し居り大手筋は何れも賣控へ居るによるものなりと。

●金物中心市場 (米國の新運動)

戦争の結果諸金物の價格騰貴したる爲め今や米國の鑛業及金物業は同國に於て第二位を占むる大宗の商業となれるか近着の紐育コンマーションヤールに據れば米國當業者の大團體は此際倫敦に代り紐育を世界金物の中心市場たらしむべく商務省に對し新運動を開始せりと其趣旨とする處は

米國は銅、鉛、亜鉛の最大生産國たるに國內の消費すら倫敦市場の價格に支配せられ頗る不利を忍へり然るに目下英國政府は金物相場を制限し居れるを以て紐育金物取引所の相場を世界金物價格の標準たらしむべく今日は絶好の機會なり。

と云ふにありされと倫敦か世界金物の中心市場たるは倫敦の相場か紐育よりも高位にありて勢ひ世界の金物業者か倫敦の市價に支配せらるゝに因る左れば紐育にして中心市場たらんには倫敦の相場よりも高値を正當に維持せざるへからず然るに現在亞鉛は船賃保険料を差引くも尙ほ紐育に於けるよりも倫敦に於て高値を唱へ又銅の如きは百封度に付五十仙の運賃及保険料を差引くも尙ほ紐育と倫敦とは一封度に付三十仙餘の値鞘を生せる有様なるのみならず戦後と雖も歐洲に於ける金物の需要は多額なるへきを以て米國當業者の新運動は事實上效果なかるへしと。

●銑鐵拂下許さず 八幡製鐵所は曩に兵器製造に使用の條件を以て、同所製造に係る銑鐵一萬五千噸の拂下けを爲せるより、其の後大阪方面の事業家にして、引續き拂下けを

申請せる向きあるも、製鐵所の能力に限ありて到底其の申請に應ずるを容さず、折柄釜石第三坑區の出鑛に故障ありとの事にて、銑鐵の缺乏益す甚たしく、市價は大阪、東京にて九十圓を唱へ、製鐵所の拂下價額六十二圓五十錢に比し、實に二十七圓五十錢の差を見るに至れり。

●鐵需要の前途 米國鐵市場は時局の推移と共に益々好況に赴き二十日某所への入電によればカーネギートラスト并にインチ物百斤に對し十七圓九十錢にトラスト反對側は十四圓に暴騰せる旨を報せり一方我國に於ける現相場は平均十二圓にして原産地に比し遙低價を深ち居れる状態にて然もカーネギートラストは十二月、トラスト反對は九月以前は積出不充分にして一方内地に於ける需要は最近著しく増加せるあり爲めに原産地の騰貴と相俟つて久しく沈衰の状態にありし鐵市場は最近相場十二圓を最低相場として今後益騰貴するに至るへしと云ふ。

